

③ 平成30年度外部評価結果報告

◎外部評価とは

町では、行政運営の成果を経済性、効率性、有効性などから分析して評価し、業務を見直し、改善していく行政評価を平成14年度から始めました。

そのひとつが外部評価で、総合行政審議会（総務部会）委員が、行政内部だけでは気づきにくい課題や住民と行政の意識の違いなどについて検証を行っています。

行政事務のチェックは、町の監査委員が法令などに基づき専門的な観点から監査を行っていますが、外部評価はあくまでも住民の視点・感覚から町の施策や事業を評価するという点で趣旨が異なっています。

【総合行政審議会（総務部会）委員】

部会長 笠井 正憲さん
副部長 上郡 香奈さん
委員 大窪 敏文さん 三橋知壽子さん
滝川千恵子さん 大井 義雄さん
沼澤 信彰さん 小野 由貴さん
大島 光敬さん 宮本 俊輔さん
（住民生活部会より出席）
照井 光一さん 金行 健次さん
出村 誠さん

◎外部評価の実施

平成30年度は、7月から8月にかけて合計5回の部会を開催し、外部評価を行いました。

評価の対象は、町が平成29年度に取り組んだ59施策のうち12施策となっています。（次ページ以降）

◎外部評価の方法

担当職員が作成した評価シートや担当職員との意見交換などにより、目標に対する事業の効果について評価を行い、今後の方向性や改善すべき点について提言を行っています。

◎外部評価の結果

総合行政審議会から、全体を通しての総括意見と各施策に対する個別の意見が報告されました。町では、評価結果を踏まえて今後の取り組み方針を決定し、改善できるものから速やかに対応していきます。

ワンポイント～総合行政審議会とは～

まちづくりに関する諸方策について、体系的かつ総合的に審議し、推進するために設置され、公募委員と有識者委員の20名で構成されています。

審議会には、保健福祉・住宅・環境施策を審議する住民生活部会と、行政評価を審議する総務部会の2つの部会を設置しています。

◎総合行政審議会の総括意見

西日本を中心に台風および梅雨前線等の影響による集中豪雨が発生し、11府県で大雨特別警報が発表され、河川の氾濫や土砂災害による甚大な被害が発生しました。平成25年に特別警報の運用が始まって以降、1つの災害で4都道府県以上に出されたのは初めてであり、気象庁は「平成30年7月豪雨」と命名しました。本町でも石狩川の水位が上昇し、7カ所ある排水施設が全て稼働しており、住民一人ひとりの防災意識の向上が求められています。

さて、私たちの町は、町の目指す将来像「豊かな自然 あふれる笑顔 みんなで創るいきいき未来」を実現するため、平成24年度から第5次総合計画に基づき、協働のまちづくりを進めています。

今回の外部評価では、平成29年度に実施された59施策のうち12施策について、評価を行いました。

どの事業も高いレベルで取り組まれており、このまま維持向上を図れば良くなると思いますが、もう少しPRに力を入れると町民への理解が進むと感じました。現代はさまざまな情報発信方法がありますので、広報、防災無線、ホームページの他に、SNSを積極的に活用して情報を発信してほしいと思います。

また、本町の人口減少をいかに食い止めるかが非常に重要です。若者が1人でも多く定住・移住してくれる施策を進め、そして、高齢者が安心して暮らせる地域づくりに取り組んでください。

【今回の審議を通じて共有した主な問題】

- ・計画的な公園施設の更新
- ・地下水を使わない融雪機器への助成制度の検討
- ・ふるさと学園大学の複数年制による「大学院博士」などの称号制度の検討
- ・認知症カフェのPR
- ・疾病予防対策による国民健康保険事業の安定的運営
- ・農家と労働希望者とのマッチング支援
- ・ブランド作物の町民へのPR
- ・商工業の人手不足対策
- ・自主防災組織未加入（町内会未加入）の方への対応方法
- ・青色パトロールの活動の町民へのPR
- ・遠距離通学費の助成制度の再検討
- ・行政区協働事業の人手不足（高齢化）による事業のあり方の検討

外部評価調書【平成29年度に取り組んだ施策の外部評価】

政策項目	施策項目	平成29年度の主な取り組み	総合行政審議会委員の意見
生活基盤の充実	公園・緑地の整備	<ul style="list-style-type: none"> ◆公園15カ所（都市公園13カ所、農村公園1カ所、その他1カ所）の維持管理 ◆石狩徳富河川緑地の維持管理 ◆みどり公園の遊具など更新 	<ol style="list-style-type: none"> ①みどり公園の遊具が更新され一層利用しやすくなりました。公園の充実が本町の魅力を上げる一助になると思いますので、今後も公園の整備・更新を続けてほしいです。 ②大雪の影響で曲がっている鉄棒があり、他にも変形した遊具があるかもしれませんので、点検・整備のほか雪害対策をお願いします。 ③石狩川河川緑地の雪捨て場にゴミが残っており、景観が良くありませんので、きちんと対応願います。また、ソフトボール場のベンチやトイレが古いので、更新を検討してください。 ④中央公園の草がのびている時期と開拓記念館のパネル展の時期が重なってしまったので、イベントなどに合わせて計画的に草刈りを行ってほしいと思います。
交通環境の充実	除排雪体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ◆除排雪作業（除雪延長187km、排雪延長38km、公共施設25カ所） ◆堆雪場2カ所の管理 ◆7t除雪トラック1台更新 	<ol style="list-style-type: none"> ①昨冬は大雪のため、除排雪作業に当たられたオペレーターは大変だったかと思いますが、本町の除雪はきちんと行われていると思うので、今後も続けてほしいです。 ②早朝除雪の時間や日中の市街地除雪は危険なため原則行わないことを知らない町民も多いと思いますので、広報や防災無線で積極的に伝えたいと思います。 ③国道275号線の除雪が年々悪くなっていると感じます。また、中学校前の道道の排雪時期が遅く、街路樹が多いことも作業効率に影響していると思います。除排雪は大変かとは思いますが、子どもたちが通学する道路なので、きちんと行ってほしいと思います。 ④学校指定の通学路だけでなく、実際に子ども達が通学している道路についても歩道除雪を行ってほしいと思います。 ⑤融雪槽の助成について、地下水枯れの問題があるのであれば、他の工法やロードヒーティングの助成を検討しても良いと思います。
高齢者福祉の充実	高齢者の生きがい活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◆ふるさと学園大学の開催（入学者182人） ◆ゆめりあ部会活動（10部会199人） ◆シニアいきいきクラブの開催（4教室77人） ◆長寿を祝う会の開催（373人） 	<ol style="list-style-type: none"> ①ゆめりあ部会で実施しているふれあい体験教室は子どもと高齢者が交流する貴重な場なので、今後も続けてほしいです。 ②ふるさと学園大学は単年で修了してしまい、毎年1年生となるので、複数年参加したら「大学卒業証書」「大学院博士」の称号などやる気が出るような仕組みがあると良いと思います。 ③長寿を祝う会で記念品の贈呈は100歳までの対象年齢の方のみとの事ですので、より長寿な101歳以上の方は特別表彰などすると良いと思います。また、広報などで100歳以上の元気な方を特集すると良いと思います。 ④老人クラブは全国的に加入率の低下が問題となっていますので、町も対策を検討しても良いと思います。 ⑤平均寿命が延び、老後の時間が増えている中、従来とは違う新しい生きがいを提供していく必要があると思います。 ⑥高齢者への生きがいを提供することも大切ですが、本当はそのような場に参加しないで外にほとんど出ず、人との交流が少ない高齢者が問題であり、その対策も検討しても良いと思います。
高齢者福祉の充実	高齢者介護サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> ◆臨時福祉給付金（経済対策分）の支給 ◆緊急通報システムの設置（延べ61台） ◆高齢者世帯への除雪費用助成 	<ol style="list-style-type: none"> ①新しく開店した認知症カフェを知らない町民が多いと思いますので、PRを続けてほしいです。また、営業時間が平日の午前10時から午後5時と働いている人が通うには難しい時間帯だと思います。 ②全国的に認知症が原因の交通事故が増えていると聞きますので、町内では発生しないよう、地域や病院と連携し、予防事業に力を入れてほしいと思います。
医療環境の充実	国民健康保険・後期高齢者医療の安定的運営	<ul style="list-style-type: none"> ◆後期高齢者医療保険の運営 ◆国民健康保険の運営 	<ol style="list-style-type: none"> ①収納率99.9%は大変素晴らしい数字だと思います。今後も続けてほしいです。 ②未納が続く、保険証の資格が停止されると、医療費を100%払わなければならないので、大変だと思うので、納税者には仕組みをしっかりと伝えたいと思います。特に、若年層は制度をよく知らない人も思うので、何か集まった時を利用して、年代ごとに説明会や講習会を行うと良いと思います。 ③安定的な制度運営を行っていくには、疾病予防に力を入れていくことが大切だと思いますので、保健福祉課と協力して事業を進めると良いと思います。 ④振込より口座振替の方が確実に納税されると思うので、口座振替を推奨することで収納率が上がるのではないかと思います。
農業の振興	農業者の育成	<ul style="list-style-type: none"> ◆新しい青年就農者へ補助金の交付 ◆ピンネ農業公社の運営 	<ol style="list-style-type: none"> ①農業次世代人材投資事業は青年就農者に対してとても良い制度だと思いますので、今後も続けてほしいです。 ②道内外含め、新規就農希望者に向けたPRをもっと積極的に行うと良いと思います。 ③費用の関係で水田を持たず、蕎麦などを栽培する農家が増えています。水田認定面積調査が施策指標の計測方法となっていますが、将来的に見直す必要があると思います。 ④常に人手不足で、パート労働者が来ても作業がきついため定着しないことも多いです。ピンネ農業公社が農業者のパート人材情報を提供しているとのことなので、農家と労働希望者をつなぎ、両者を上手く丁寧にマッチングする必要があると思います。 ⑤パートに介護のアシストロボットの貸し出しなどがあれば良いと思います。

町担当の所見	担当課
<p>①都市公園の老朽化した遊具の更新を図ることができました。今後も整備に計画的に進めます。</p> <p>②毎年、連休前後に遊具点検を実施し、点検結果に応じて修繕を行っております。また、秋にシーソーの取り外しなどを行っていますが、積雪の状況を把握し被害が発生しないよう努めます。</p> <p>③雪捨て場のゴミについては雪が融け次第、現地を確認し速やかな対応に努めます。ソフトボール場のベンチやトイレについては更新も含め検討を進めます。</p> <p>④基本的には月末に草刈りを行っていますが、イベントなどがある場合は関係課と連携し進めます。</p>	建設課
<p>①今後も降雪状況を把握して適切な除排雪作業に努めます。また、皆様のご協力をお願いします。</p> <p>②広報11月号で除雪の特集を掲載しご協力をお願いしました。また、豪雪時など除雪状況に応じた防災無線放送を今後も進めます。</p> <p>③国道や道道の排雪は、学校の始業式に間に合うようお願いをしています。また、日々の通学路除雪についても管理する国、北海道に依頼をします。</p> <p>④歩道除雪延長を増やすことについては、雪を積むスペースの関係やロータリ除雪車の回れる距離に限りがありますが、今後もより良い方法を検討します。</p> <p>⑤地下水を利用する融雪槽は、水枯れの問題もあり助成は難しい状況にありますが、除排雪に係る負担軽減について良い方策の検討を進めます。</p>	建設課
<p>①平成30年度は4部会が開催し、延べ49人の小学生が参加しました。今後も継続するよう、部会をサポートします。</p> <p>②令和元年度から修了回数により「学位、修士、博士」の学位を授与することとしました。また、北海道教育委員会主催の「道民カレッジ」の連携講座として大学を登録し、学生の学習意欲の増進に繋がります。</p> <p>③100歳以上の節目の方を対象としたお祝いと広報の特集については、実行委員会で協議します。</p> <p>④視察研修や総会時移動支援の拡大など加入率上昇に向けた支援に取り組みます。</p> <p>⑤シニアいきいきクラブにおいて、新たな仲間や生きがいを見出すきっかけづくりとして毎年4～5の事業を行っています。札沼線での遠足、太極拳の体験、マジック教室など今後もさまざまな内容を検討します。</p> <p>⑥生きがい活動についての情報提供を促進するとともに、現在活動している方からの直接の声掛けなどを進めます。</p>	保健福祉課
<p>①認知症カフェは平成30年6月から社会福祉協議会が実施主体で行っています。区回覧などでのPRも行っていますが、参加対象者や実施内容について検証しながら、良好な事業運営に向けて日時や内容を検討します。</p> <p>②認知症は、定期的・継続的な活動の場への参加が予防効果が高いとされていることから、住民が参加しやすい身近な地域を拠点とした活動を推進しています。また高齢者の運転に関し、従来から病院や地域から寄せられる情報により、地域包括支援センターが随時個別対応しており、今後とも関係機関や地域との連携を推進します。</p>	保健福祉課
<p>①納税相談などを強化し今後も収納率維持に努めます。</p> <p>②国民健康保険は、保険税が未納でも資格停止を行わず、有効期間を短くして未納者と会う機会を設けるようにしています。制度は、広報での周知、保険証の交付の際冊子の配布を行っています。今後も同様に制度の周知を行い、要望がありましたら出前講座で説明会を実施します。</p> <p>③保健福祉課とは医療費などの情報共有や来庁された方に健診の案内パンフレットを配布するなど連携しています。今後も連携し、疾病予防に努めます。</p> <p>④現在約6割の方は口座振替を利用されています。今後も納税通知書発布時に口座振替利用手続きの啓蒙を進めます。</p>	住民課
<p>①今後も継続して実施し効果を上げていきます。</p> <p>②PRは、ピンネ農業公社と協力しながら、北海道新規就農フェアに参加し進めていますが、今後、より効果的なPRに向け、手法などについて検討します。</p> <p>③次期計画に向け、今後指標の見直しを含めさまざまな観点から検討します。</p> <p>④マッチングは、現在もピンネ農業公社で情報提供を行っており、徐々にではありますが効果も出てきていることから、引き続きピンネ農業公社と連携し、情報提供に努めます。</p> <p>⑤今後、作業の負担軽減策の効果などを検証し、良い方策を検討します。</p>	産業振興課

外部評価調書【平成29年度に取り組んだ施策の外部評価】

政策項目	施策項目	平成29年度の主な取り組み	総合行政審議会委員の意見
農業の振興	農産物ブランド化の支援	<ul style="list-style-type: none"> ◆農産物のPR（札幌市内での販売、日ハム試合での米提供） ◆酒米粉の活用に向けて研究・特許出願 	<ol style="list-style-type: none"> ①ブランド認定されている5品目（メロン、桃太郎トマト、桃太郎ファイトトマト、生しいたけ、玉ねぎ）をブランド品だと知らない町民も多いと思いますので、新聞なども活用しながらPRを続けてほしいです。 ②町民に対するブランド品の認知度を上げるために、ハネ品を安価に販売して味を知ってもらうのも良いと思います。 ③ブランド品の普及にはある程度の量を市場に流通させる必要があると思いますので、そのためには栽培農家が増えないとブランド化は難しいと思います。
商工業の振興	商店街の活性化の支援	<ul style="list-style-type: none"> ◆商工会スタンプラリーへの支援 ◆中小企業への資金融資の利子補給 	<ol style="list-style-type: none"> ①農業だけではなく、商工業もあって町が発展すると思いますので、商工会からの要望などに柔軟に対応してほしいです。 ②農業が人手不足だと聞いていますが、商工業も人手不足で、障がい者の就労やシルバー人材などの活用を進めていますが、町でも対応を検討しても良いと思います。 ③地元での購買が促進されるように得とつぷカードの2倍デーなどを設けると良いと思います。 ④町のPRに繋がるので、町外での販売会展への助成を検討しても良いと思います。
防災体制の充実	地域防災力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ◆防災研修の開催（参加者68人） ◆防災ハザードマップの作成、全戸配布 ◆地域防災計画の改定 	<ol style="list-style-type: none"> ①施策の指標がH29年度で100%になったので、指標の見直しが必要だと思います。 ②自主防災組織を組織しただけで終わらず、訓練などを重ねて全体が少しずつレベルアップできると良いと思います。 ③行政区民以外からの広域避難を想定した、行政区で避難運営マニュアルを作成するためのある程度統一した案を示すと良いと思います。 ④町内会に加入していない町民には自主防災組織の情報を伝えていないので、その方への対応について検討しても良いと思います。 ⑤防災無線は重要ですので、高齢者など役場まで取りに行くのが大変な方には、役場が直接届けるのも良いと思います。 ⑥仮に町が浸水した時の深さが分かる目印、看板などを行政区会館や電柱に設置すると良いと思います。
生活安全体制の充実	防犯体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◆安全・安心推進協会の支援 ◆中央地区市街街路灯管理組合の支援 	<ol style="list-style-type: none"> ①安全・安心推進協会の役員は各行政区に設置される分科会の代表者で構成されるため、1年ごとに入れ替わりがあり、どうしても積極的な活動にならない傾向があるので、町としても何か対策を検討しても良いと思います。 ②青色パトロールの活動が町民に広く知られていないので、防災無線や広報で周知すると良いと思います。 ③交通指導員や安全・安心推進協会など似たような活動があり、人口減少の中、会員を選出するのが大変な行政区もあると思うので、活動や団体を整理・統合することも必要だと思います。
学校教育の充実	学校教育環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◆新十津川農業高校の支援 ◆高校など遠距離通学費の一部助成(15件) ◆第3子以降の幼稚園保育料無料 	<ol style="list-style-type: none"> ①年々、子ども達の挨拶が良くなっており、大変素晴らしいと思います。 ②遠距離通学費の助成について、農業高校への支援強化など、強化する事業を進めている一方で、町外の学校への通学に助成するのは少し不自然だと思いますので、制度を再検討しても良いと思います。 ③小学校、中学校、農高が一体となり活動するような動きになれば良いと思います。そのためにも、町が調整役となり進めていく必要があると思います。 ④自転車通学について、中学生以上は車道の左側を通行しなければなりません。危険ですので、通学路には歩道を自転車通行できるように、自転車通行可の道路標識を設置するなどの対策を検討しても良いと思います。
行政の効率的な運営	安定財政の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆ふるさと応援寄附金(4317人 1億1207万1734円) ◆財務書類の作成 	<ol style="list-style-type: none"> ①他の自治体と比較して本町は、健全財政を維持しているので、今後も継続してほしいです。 ②健全財政を維持していることを知らない町民も多いと思いますので、もっとアピールをすると良いと思います。 なお、アピール方法については、財政に余裕があると思われ、税の滞納者が増えても困るので、充分検討した方が良いと思います。 ③行財政改革の一端で、協働事業として草刈りなどを行政区で行っていますが、高齢化により人手が少なくなり、実施が大変な行政区もあると思いますので、今後事業の在り方を検討しても良いと思います。

町担当の所見	担当課
<p>①商品の認知度を高めるため、町内および町外での商品PRを継続して行います。あわせて観光パンフレットでの継続的な紹介や情報媒体を活用してPRを進めます。</p> <p>②ハネ品を安価に販売することは、商品としての価値やイメージを下げることに繋がり、慎重な対応をしていかなければなりません。見た目は悪くても味は同じものもありますので、イベントおよび販促などの試食の機会などを通じ町民の認知度を高めていきます。</p> <p>③栽培農家を増やすことは現状では難しいため、農産品を町内外でPRを継続して行い認知度を高めるよう努めます。あわせて「新十津川町」の名を知ってもらうためのPRも行います。</p>	産業振興課
<p>①町の発展のためには、町内の商工業の振興は大変重要です。商工会からの要望などについては、その効果について十分検討し、対応すべきものについては、支援を進めます。</p> <p>②人手不足の対策として、本町も含めた中空知の市町による合同企業説明会の開催、生産性を向上させ人材確保に取り組む中小企業者への助成などを行っています。人材確保に関する情報提供やその他の有効な方策について検討します。</p> <p>③得とっぷカード事業は、商工業者で組織するポイントカード会が実施主体となっています。町としても同会や商工会と連携し、地元での購買促進のための方策に取り組みます。</p> <p>④販売促進や広告宣伝のための新たな取り組みとして出展する中小企業者に対し平成28年度から助成制度を設けています。</p>	産業振興課
<p>①②全行政区で自主防災会が設立され、自主防災会の人口カバー率は100%になりました。今後は、自主防災会が行う防災研修・訓練を支援し、持続可能な組織として100%を維持できるよう進めます。</p> <p>③胆振東部地震による大規模停電もあり、避難所運営マニュアル（自治会館版）の作成について、各自主防災会と連携しながら令和元年完成に向けて進めます。</p> <p>④町内会に未加入の方へは、回覧板などでその行政区が進める防災情報を提供することができないことから、広報やホームページを通じて、自主防災会の取り組みや災害発生時の共助の必要性をお知らせします。</p> <p>⑤役場（建設課）での貸し出しとさせていただきますのでご了承願います。なお、電池交換の方法など使い方で分からないことがありましたら、電話でお問合せ願います。</p> <p>⑥これまで浸水深さの目印の設置について検討しましたが、ハザードマップを全戸に配布することで対応させていただきます。また、平成30年2月には防災ガイドマップを配布していますので、ご家族で自宅の浸水深さや避難所などのご確認をお願いします。</p>	災害対策事務局
<p>①各分会の活動状況を他の分会に情報提供するなど活性化するような働きかけの実施を検討します。推進協会本体における活動は、交通安全週間での立哨活動や青色防犯パトロールなど、年間を通じた活動を実施しています。</p> <p>②防災無線を利用して、青色防犯パトロール活動の認知度向上を図ります。</p> <p>③安全・安心推進協会は、「滝川交通安全協会新十津川支部」、「新十津川町防犯協会」および「新十津川町交通安全母の会」の会員減少に伴い、統合・整理して平成21年に発足し現在に至っています。交通安全指導員は、町民への交通安全指導と啓発を目的に活動しており、各地域の安全・安心活動を中心に行う安全・安心推進協会とすみ分けをしていますが、今後の人口動向によっては、団体とともに検討します。</p>	住民課
<p>①これからも、更なる向上に努めます。</p> <p>②助成状況などを検証し、令和2年度以降の方向性を決定します。</p> <p>③小学校では田植えなどの農業体験、中学校では農産物販売などの活動を農業高校と連携し実施しています。今後も、さらに農業高校との連携を図った授業を進めます。</p> <p>④現在、役場前の反対側の歩道に自転車および歩行者専用の道路標識があり、自転車の通行ができるようになっています。歩道幅の制約などがありますが、その他の通学路でも標識の設置を警察に要望します。</p>	教育委員会
<p>①今後、老朽化が進む公共施設などの維持管理や更新に多額の費用が必要となりますが、公共施設等総合管理計画に基づく計画的な管理によって、財政負担の平準化や抑制を図り、健全財政の維持に努めます。</p> <p>②本町が近隣の市町と比較して財政状況が良いことを広報やホームページを通じて周知していきます。また、貯金が増えているのは今後、公共施設などの維持管理や更新に多額の費用が必要となることに備えているため、余裕があるわけではないことも周知します。</p> <p>③行政区と町が協働で管理するという考え方を前提に、行政区と協議しながら、各地域の現状を踏まえて進めます。</p>	総務課